



④母屋西側の作業場外観。

ここは、食料の加工保存や子どもたちの環境学習の場になります。

工事概要

(1)建物 母屋	建築面積 201.106㎡ 床面積 221.990㎡ (1F200.269㎡ 2F21.721㎡)	木造平屋建て (一部2階建て) 鉄板葺き
作業場	建築面積 66.248㎡ 床面積 49.686㎡	木造平屋建て鉄板葺き
(2)外構	庭、菜園、水路、池、揚水風車	実のなる樹木、芝生、ハーブ類

○ままでの家利活用のご案内

ままでの家はエコハウスを村民に普及し、住まい部門から二酸化炭素（CO₂）を半減することがねらいです。見学や宿泊ができますので、実際に泊まっていただき、住まいの性能を確認してください。ままでの家は、子どもたちの環境学習の場として、また、移住希望者の住宅モデルとして活用します。

そして最も期待されるのは、ままでの家が「ままでの暮らし」の体験を通して村民と村外の人々の交流拠点となることです。

●お問い合わせ先…ままでの暮らし普及センター
(☎ 68-2850)



②敷地北東側の母屋外観。

薪ボイラーからの煙が立ちのぼります。外壁は杉板を使用しています。



①敷地南の母屋外観。

屋根には太陽光発電、太陽熱温水設備。母屋前のキーホールガーデンやキッチンガーデンではハーブや野菜などを栽培し、農村の暮らしが学べる場となります。

このほど、役場庁舎の西側に「ままでの家」が完成しました。

この「ままでの家」は、本村が環境省の全国20ヶ所のエコハウスモデル（※）に選定され事業を進めてきたもので、4月からどなたでも見学できます。

ままでの家は、ままでのライフを住まいの場から実現するための提案で、11社が設計プロポーザルに参加、厳選の結果、豊田設計事務所（いわき市）が選ばれ、本体工事は古俣工務店川俣支店、外構工事を英工務店が担当しました。

※ 21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業。
東北では「山形県」と「飯館村」が選定されました。

施設案内

開館日	火曜日から日曜日（月曜日は休館）
開館時間	午前9時から午後5時まで（体験宿泊者は翌朝まで利用可）
休館日	① 月曜日 ② 祝日 ③ 12月28日から12月31日及び1月1日から1月4日まで
体験宿泊できる日	開館日（ただし、4月の体験宿泊は24日から）
体験宿泊料	実費 1人1泊通常約1,500円程度（寝具クリーニング、電気・水道代など）
体験宿泊予約先	ままでの暮らし普及センター ☎(0244)68-2850



③母屋内部

内部通り土間に薪ストーブを配置し、地元の石で蓄熱体を造りました。

人口減少社会が進む地方圏においても安心して暮らせる地域を形成するため、平成21年10月、南相馬市と飯館村の間で定住自立圏構想に基づく協定を締結しましたが、この度、構想に基づき今後5カ年の共生ビジョンを策定しました。

共生ビジョンの基本理念は、南相馬市と飯館村において、一定の集積された都市機能の充実を図るとともに、環境や地域コミュニティなど農山漁村機能の有機的な連携と、互いに有する資源の有効活用を図りながら、圏域全体の暮らしに必要な生活機能確保するため互いに連携・協力

「南相馬市・飯館村定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。

○これまでの経過

平成21年3月25日

南相馬市が定住自立圏構想の「中心市宣言」

平成21年10月6日

南相馬市と飯館村が協定書を締結

平成22年2月16日

「南相馬市・飯館村定住自立圏共生ビジョン」策定



南相馬市立総合病院



飯館村の田園風景